大正八年三月二十五日發行

婦人衛生雜誌

第三百四十六號

婦人衛生雜誌

第三百四十六號目次

謹告

來る四月十三日(第二日曜日)午後一時より赤坂區葵町　東伏見宮御邸内に於て本會總會擧行可致候間此段禀告候也

詳細の儀は追て御通知可申上候

大正八年三月

私立大日本婦人衞生會

素人にまで驅蟲藥として海人草の
卓效あるを知らしめたる新聞記事

（東京朝日新聞大正七年十一月六日第一萬一千六百二十八號）

●日本の子供は何故
斯う澤山死ぬか
＝恐るべき蛔蟲の害
之を撲滅する海人草

□宮入博士の研究發表

寄生蟲博士として有名な九州醫科大學の宮入慶之助博士が日本の小兒の死亡率の多い事を多年研究した結果最近面白い事實を發見したそれは小兒の蛔蟲が仲々大きい仇をなすと云ふ事である。右に就き東京醫科大學の醫化學研究所の西方醫學士が語る「宮入博士は例の宮入貝の發見者として寄生蟲に關しては立派な權威者で非常な研究をして居られます、蛔蟲に就いての事もこれ迄は小腸中でのみ發育するとのみ思はれて居つたが博士はその幼蟲をモルモツトへ注射研究した結果その幼蟲が腸壁を喰ひ破り腹腔に出で横隔膜を突き拔けて肺臟に喰ひ入り此處で發達して氣管枝、氣管、咽喉から食道、胃、小腸に居を占める、そして其初幼蟲が腸壁を喰ひ破り横隔膜を突破る時に内出血をなしその爲め小兒が突然死亡する事があると云ふ事が解つたとの事ですそして肺臟に行き損なつた奴は肝臟に這入るが之は大した事はないらしい。それで此の蟲を退治するには從來サントニン、セメンシーナ等の藥はあるが之が又頗る高いので博士は漢法醫の本を讀んで海人草と云ふ海草が特效があると云ふ事が解つたので試驗して見た結果實に良效なる事を知つたそして其海草は琉球薩摩紀州等の黑潮に沿うた海岸にあるとの事です。それで其蛔蟲は人體を離れて一定の温度を保ち得なくなると死滅するのだが冬期に於て小兒の腸内の蛔蟲を皆下してしまへば全部撲滅する事が出來ると云ふ事です」

婦人衛生雜誌第三百四十六號
(大正八年三月二十五日發行)



婦人の力

米國天文學博士　ファー子ス女史

本篇は芝區田町の淺野總一郎氏邸に於て各婦人會聯合して開きたる大日本婦人教育會席上に於けるファー子ス女史の講演を長谷川女史の通譯せられたるものに係る。

今日皆様の前に出ましてお話しします其時が恰度此戰爭が終局を告げむとして居る好き時に方りましてお話の本題に入るまでに同盟國の御婦人方が何う云ふ事を遊ばしたかと云ふことを暫く考へたいと思ひます、又此婦人等が戰爭の間に致しましたところの仕事は決して偶然の事では御座いませぬので戰爭の始まらない前に婦人等が準備して居た其事が戰爭が起つた時其勢力が新らしい方向を與へたと云ふだけであります。

それで此四ヶ年間の戰爭に婦人等が經驗致して戰後復び改良せられていろ〳〵基礎を立つて仕事をすると云ふ事が此戰爭間に於ての經驗が新らたなる力を與へ新らたなる方角を示す事だらうと思ひます。

先づ此同盟軍の婦人方の事を申すに先立つて白耳義の婦人方が此戰爭に於て幸福するよりは先づ死ぬことを願はれたと云ふ其名譽高き婦人等が自分の國が戰爭の爲めに斯かる禍を被つたので一意專心國の爲めに盡された白耳義の御婦人方に敬意を表したいと思ひます。

次は佛蘭西の婦人方此方々は過去に立派な歷史を通して此傳はつて來た勇氣の有る健全の精神之を戰爭の爲めに自分の國が深く荒廢に歸した其中に於て

其精神を續けたいと云ふ其佛蘭西の方々にも敬意を表したいと思ひます。

其次に英國の婦人の方に――英國の婦人は進取の氣象に富んで新らしい仕事を見付けたいと云ふ氣象に富んでお居でになりまして戰爭の始まるや否や直にいろ〳〵の方角から此戰爭を助けて或は戰爭の所にまでも行つて最も勇敢なる精神を持つて軍隊を助けさうして國民一般の爲めに盡された英國婦人の方方にも敬意を表したいと思ひます。

それから今日私をお招き下さいましたところの御主人役を遊ばす日本の婦人方にも敬意を表したいと思ひます、此御婦人方は赤十字の爲めに同盟國の負傷者を御扶け下さつたところの御婦人方で其方々に敬意を表したいと思ひます

次に露西亞の婦人方其方々は決死隊を編成して婦人自らが兵士になつて死ぬ、寧ろ死ぬことを願ふて決死隊を拵へて戰爭に從軍されてさうして本統に男子方の士氣を鼓舞されたと云ふことで其戰爭に於て後援をなされたところの露西亞の婦人方にも敬意を表したいと思ひます

それから又皆樣に同じやうに振り懸つて來たところの戰爭上の慘禍を勇氣を以て奮鬪を以つて良きに行つたと云ふところの伊太利、波蘭土、塞比亞等の婦人方其方々にも等しく敬意を表さうと思ひます。

最後に私の愛するところの亞米利加の婦人等に敬意を表さうと思ひます、米國の婦人方は戰爭に參加していろ〳〵の方面に於て戰爭を助け食物を安くすると云ふ風にして聯合軍を助けて居る、それから又其外に於て若い婦人方は勤勉著實なる精神を有て此戰爭を助けたいさうして「ブラワメッド」の國を助けたい幾多の困難を嘗めても其國に渡つて助けてやらうと云ふ博い精神を表はした婦人等に敬意を表さうと思ひます、で此今申上げたのみならず其他幾多の婦人達は此人道の戰爭の爲めに未來の人道の道を明にする爲めに皆が捧げた其事に就いて敬意と名譽とを其人達に捧げたいと思ひます。

次に私がお國に參りますに就きまして代表的に婦人達が手紙を書きまして皆樣に御挨拶の辭を贈りましたがそれを一寸御耳に入れたいと思ひます、澤山婦人會がございますけれども其中に特に二つの婦人會から贈つたところの御挨拶を皆樣にお聽かせしたいと思ひます。

初めに讀みます御挨拶を書きました解は「ナショナルデヘンス」、國を保護する會であつて、是は戰爭の爲めに特に出來た會で陸海軍人以外の方文官の方を政府から顧問官として特に依賴を受けて居らるゝところの會であつて、其會が婦人の助けを要するので婦人の委員會と云ふものがそれに又出來るやうになりまして其婦人會の委員長から此手紙が來たのであります、それから此會の事に就きまして少しく御話し申します、で是はさう云ふものに屬した婦人會で其婦人は國が大いので同じやうな目的を以つて會が出來て居るので或は仕事が重複する嫌ひ無しとも限りませぬので皆同じ樣な會議をする事が重複しいなで上手く行き渉つて出來るやうに婦人が男子の仕事を聯合して立てるやうになつたのであります、此手紙をお書きになつたのはアンナショウと云ふ人で米國婦人會全體の差圖をして居る方で其會の婦人達は一番澤山働き一番澤山な女の方が入つて居られる會であります。

今お話し申したアンナショウと云ふ方のお書きになつた手紙に「ナショナルデヘンス」と云ふ其會は澤山の婦人會を網羅して居る會でありますがざつとして手紙を見ると此米國の婦人等から皆樣に好意を示した其亞米利加の婦人の數は千萬人と思召していただきたいと思ひます、今此手紙を讀みました其婦人部は男子部と共に戰爭のある爲めに出來たので其國を保護すると云ふ其會であります、戰爭が已むと共に自然其會が解散する會でそれにしても暫くの間用務があるだらうと思ひます。

其次に手紙を書いて寄こしたのは戰爭の爲めに千八百八十三年以來出來た會であつて米國に在る各婦

人會を併せて聯合會或は婦人協會と云ふやうな者で此處から皆樣に特に御挨拶の辭を贈つたのであります、是は米國で名高い會で其會から來た手紙であります、が是は日本の婦人に宛てたものであります、合衆國の婦人協會は日本の婦人に御挨拶の言葉を贈りました、合衆國婦人協會は萬國婦人協會に屬して居るところの二十五の婦人會の一つであります、二十五の國が萬國婦人協會に入つて其一部が米國婦人協會であります、合衆國婦人協會を第一に形造られたもので國民の基礎として婦人の代表的團體が必要であると云ふことを感じて萬國婦人の同盟を圖る前に先づ米國が之を率先して拵へたものであります、合衆國婦人協會は三十の婦人會から成立つたもので其三十の會の會員は殆んど一千萬人であります、萬國婦人會の集會は五年に一度宛あるので最後は千九十年羅馬に於て開かれまして、其次はクリスチヤニヤで開らかれて居ります、多分五月であらうと思ひます、合衆國の集會は一年に二回で最後には千九十年華盛頓に催されました、終りに臨んで米國に於ける多くの代表者からカルカイン孃を通じて紐育バッサル」大學のファーチス孃を通じて日本の御婦人方に御挨拶を贈られたのであります、此手紙を皆さんに御示して下さい又皆さんの御親切は私が代表して居るところの婦人團に依つて大變に難有存じて居ります、三十の婦人協會を合せた其協會の會長はモーアー夫人であります、まだ此外斯んなに大きい會と云ふ風にして居りませぬ小さな會個人友達から成つた會からも日本の皆さんに御答が來て居りますがそれは米國の婦人が日本の婦人と親しく爲し得るところの者の多きに於て又世界の爲めに貢獻するところは多大であらうと考へます、是は婦人として共通の問題を持つて一つの國で研究した問題が又外の國に於て利益になり御參考になる事があるだらうと思ひます、お互にお集まりになつて諸處でお聽した事やそれから研究した事などを交換遊ばすことが出來たらお互に利益であらうと思ひます

先刻の此モーア夫人の手紙でありますが萬國婦人協會に就て私が今日其事を皆さんにお話して是非日本の婦人の方にも聯合會をお造りになつて萬國婦人協會にお入りになることをお勸めしたと云ふことで今此事に就て少しく申上げたいと思ひます。

此萬國婦人協會と申しまするのは各國に於ける婦人會の聯合した者で、其國の一つの婦人會と云ふそれを代表して世界の婦人會の協會に入るのでありまして此會はいろ／＼の事を評議致しますが決して決議は致しませぬ、それであるから日本から代表者を出しても決して責任等の御面倒はないので日本が何う云ふ事をしなければならぬと云ふやうな御懸念は御無用であらうと思ひます唯或問題を捉へて研究してお互に參考にするだけであります、或一つの事を定めて貰らはぬければならぬとか云ふやうな事は決してない唯何う云ふ評議をし相談をしさうしてお互に知つて居る事を研究してお互に知識を殖やさうと云ふ事だけなのでございます、で此會の性質と申しますのは此會の憲法の條文を少しく申上げたら大體お解りになるだらうと思ひます、それは各國の國民に於て婦人達は人類の最善を圖るには私共は婦人等の思想、同情の目的などを一つにしてさうして婦人等の團體を組織して國家及家族の一般利益を圖ることが出來ると信じまして私共は社會の爲めに働くところの一つの會を拵へてさうして各社會の習慣法律は自由であります、金言を應用したいと思ふ、「汝が人に欲したいと思ふ事を人にも施すべし」東洋ではそんな消極的な事は言はないで己れの欲せざるところを人に施すなかれと云ふ風でありますが、歐羅巴では汝の欲したい事は人に施してやれ、と云ふことで其金言を社會の習慣法律の上に應用して其金言を基礎として各國の婦人が合同して一番良い事をして社會の爲めに貢獻したいと云ふ其目的思想を一つにして働きたいと云ふのがそれが先づ婦人會の重なる目的でございます、此方に參る前にレーデスアパテンと云ふ方は萬國婦人協會の會長でありますが其方

は世界で皆さんに知られた御婦人であります、が私が御國に參るに就きまして是非日本の婦人方にも萬國婦人協會に御入會なさるやうにお勧めしたいと云ふことで又最近に諾威に開かれる萬國婦人協會の集まりまでには日本でも日本だけの婦人會をお造りになつて何方か代表の方を御選びになつて御寄しになれば其方を名譽副會頭にすることが出來ますから其處で議決の權利は無くともいろ〳〵發言の權を與へられるのですからいろ〳〵御相談をなさつて皆さんと評議をなさつてそれから御國に歸つて其有樣を御報告をなさつたら宜からうと思ふ、さう云ふ萬國婦人協會に御入會の思召があるならば何うぞ日本の婦人方に機會があつたらお入り遊ばすやうにお勧めしたいと云ふお話があつたのであります。

でまだ婦人として講和會議に列席の光榮は持たないのでありますが何にしろ戰爭の平和克復した時は萬事戰爭の爲めに打碎かれたところのいろ〳〵の事を復び設けなければならぬので婦人等としては婦人及子供の事に關して切實にいろ〳〵の必要を感じて來るだらうと思ひますので來年諾威に開かれる萬國婦人協會には戰後の婦人及子供の事いろ〳〵な事をそれを如何にして爲さむか、如何にして爲やうと云ふのが大なる研究の價であらうと思ひます、それで此萬國婦人協會に入つて居る國を申しますと例へば北米合衆國、カナダ、獨逸、瑞典、諾威、丁抹、和蘭、澳太利、洪牙利、伊太利、亞爾然丁、瑞西、勃爾牙利、塞比亞、芬蘭土、南亞弗利加、白耳義等で獨逸、澳太利、洪牙利等の二つの國は入らぬとしてもそれ等のいろ〳〵の國が婦人協會に入つて居る關係で戰爭の結果で國が分裂して何う云ふ風になるか分りませぬ、けれども後の者は同盟して居りまして戰爭と同じ目的を以て參つたのであります、或は獨逸の婦人を來年の會に普通に招く積りでありますか何うかまだ同盟國の婦人に對する態度等も判然は解つて居りませぬです。

で大變に今日お話を申上げる本題に入るまでに他

の事を長くお話し致しましたが是から今日のお話に移ります。

御承知の通り亞米利加は大な國でありまして亞米利加の人は物を試驗することが大好きな國民でございます、いろ／＼な事を考へて斯うして見やうあゝして見やうと研究をし實驗をする國民であります、其實驗の結果が後に役に立たゝぬものもありますし、或る物は何うも間に合はぬとか或は役に立つ物もございます、それで此實驗を致しますには一つの便利なことは國の組織であります、それで各州が一緒になつて合衆國政府を拵へては居るが其一つ一つの州は或程度までは自由で、自分に自由な法律を有つて居ります、それであるから一つの州に於て若しいろ／＼な事を行ると外の人に試みる力があつて或は斯うしたら良かないかと思付いたら外に澤山の人人も同じやうに共通で用ひられるのです、例へば一つの州の國で皆が同意してした事を贊成して吳れゝば直ぐに仕出すと云ふ事が出來る、外の各州は總てが同じやうに考へて定めずに活用する、さう云ふ時間を費やす必要がなくて進んで行くことが出來る其處が亞米利加の斯う云ふ事に適して居ることなんだらうと思ひます、それで一の州で以つて爲した其事を良い事と感じてそれを實行しやうとする例へば婦人が子供などを助けてやりたいと云ふやうな事に就ても其人達に勞働には餘り年の若い子供達を使つては惡るいとかで婦人等の子供が工場で使はれるにしても時間を早くさせるとか年齡を限るとか云ふやうな事を其州で定めて行ると外の州でも行ると云ふ風にして居る、で全體合衆國政府の法律にしても運動して一遍はさう云ふ事もしたけれどもそれは憲法に違反して居る事であるからそれを仕直して捨てゝ仕舞つたと云ふやうな事も御座います、

それで今申した通り各州が獨立して自由にいろいろな事を行ることが出來る、或州に於て衞生の事などが發達して居つて他の州がまだそれに及ばないと云ふやうな事があれば外の州に於てもそれを完全せ

しむるやうに熱心に之をさすと云ふ風にして合衆國として國の全體に行なふと云ふ心懸を有つて居る人は別に團體を拵へて同志を集めて研究し實行したいと云ふので皆が會を組織するのであります、

で此戰爭の始まる前に多くの人は亞米利加人は戰爭で上手でないと云ふ一般の批評であつたやうですけれども戰爭が始まつたら皆樣が思ひ違ひをしてお出でになつたと云ふ第一に間違つたと云ふのは亞米利加人を御承知にならぬからで亞米利加人は自分の國をもつと良くしたい自分の良き習慣を付けて良い事を輸入したいと云ふ亞米利加人は物を試みる習慣があつて始終考へて居る、さう云ふ會を拵へて斯う云ふ風にしたいとか云ふ風に皆改善とか改良とか云ふことを圖り舊い事に反對して良い事を玆に起さうと云ふので矢張り其事が正しいと思はなければ仕直すと云ふ習慣であるが戰爭と同じに戰つて良い事を起さうと云ふのが婦人會を建てるところの目的であつて亞米利加人は戰爭は下手いに違ひないが斯う云ふ血を流すやうな事は戰爭が始まつたからで戰爭さえしなかつたならば私共の友人も戰死するやうな事にはならないでさうして社會の改善も圖れるし良い事も餘計にすることが出來るので私共は同種類の改善が重要問題で又それが私共の同盟的の性質である、で亞米利加人は戰爭が出來ないとか下手いとか言はれるのは亞米利加人を知らない方の話であります、で私共は何人も同じく考へる事だらふと思ひますが何うかして國民としては健全である子供の繁榮を圖りたいと思ふのでありますが、健康と幸福との二つ相竝んで行かなければならぬので若し體が健全でなければ自分の爲たいと思ふ事も心の儘に爲る事が出來ない、さうすれば精神にも不安を與へるから其人は幸福と云ふ事には行かない、それで私共は國民としては皆幸福であつて且つ健全であつて生活する事が出來れば高い理想の標準を以つて國民全體に對することが出來ると云ふ是が私共の第一の大なる希望であらふと思ひます、然れば如何にして健全で

あるか如何にして高き理想を國民に與へることが來やうかと云ふのが問題であります。

で國民の健康を保つと云ふことは病氣になつたらお醫者さんを呼ぶと云ふことが國民の健康を保つに第一の大切な事ではありませぬ、社會のお醫者さんと云ふ者は病氣になる前の事であります、それで互に經驗して知つて置いて病氣に罹らないやうにする、さうして思ふやうな事を爲すことが出來ないと云ふやうな人も出來るやうにするには何うしたら宜いか何うしてもつと健全に强壯にして行くことが出來やうかと即ち國民の健全と云ふことを考へるには病氣の時何うすると云ふのではなく體力を丈夫にして其人の働けるやうに爲すと云ふ日々の健康、平常に强壯である人々をそれを何うしたら出來るかと云ふことであります。

それで此社會衛生を圖る爲めには病原を研究することで何處の國でも研究所と云ふものを建てられてある、米國のロックヘラーと云ふ富豪が澤山の金を出してロックヘラー研究所と云ふものを拵へて其處でいろ〳〵の病原を爲す病菌を調べて是が病氣の本を爲すのだぞと云ふことを調べて居る、現に研究せられて居る野口博士と云ふ立派なお國のお醫者樣もお出でになつて居られます、それで今申上げたロックヘラー研究所と云ふのが唯一のものではありませぬ、まだ外にも澤山あつて衛生所や大學でもそれに附屬の研究所が出來て居ります、お國にも研究所と云ふ者が在ると云ふことは私共も承知して居りますがさう云ふ風に病原の研究をして其研究した結果病菌を發見して如何にすれば之を豫防することが出來るかと云ふことがそれに伴ふところの大切なる條件になつて居ります、それで此方々の研究所に於ていろ〳〵研究したものを發表する、さうして其研究所を公開して街に開業して居るお醫者の人達は研究所に入つて來て其人達に利益を與へると云ふことが出來るやうな仕組にもして居ります、さうして病氣の豫防注射も致しまして注射液を社會に發表しまし

て多くの人に行渉るやうにすると云ふ設けもございます、それで例へば子供が病氣になつて醫者を呼んで來て醫者が排泄物なり吐いた物などを檢査して、それが實扶的里亞であると云ふことを發見すれば直ぐに血清療法を行つて病氣を治す、で斯う言ふ特別な病氣で直ぐに注射を行ふことが出來さへすれば癒るが、さう云ふ風なことばかりでなく一般社會の人が強壯でない所謂病身弱いと云ふ人をもつと健康に出來るかと云ふ研究をしたりなどするのであります。

　で此一般の人々の健康と云ふ者は何う云ふ譯で弱わくさせるかそれは一般に言ふと適度に食物を食べさせるとか或は美食して居る美食して居ないと云ふ食物の種類が體に適して居ない物を食べると云ふ事で是は貧しい人達ばかりでなく食物に困まらぬやうな人達にもあるので、それを研究をして見ると其人達に合はない食物を用ひて居るとか住所が光が足りないとか或は空氣の流通が悪るいとか云ふことから何となしに體が弱い何となく元氣の心持を有つことが出來ないとか云ふやうなことを澤山に發見するのです、で元氣が盛んでない爲めに醫者を呼ぶと云ふことも出來ないのでありますが何う云ふ事が原因であると云ふことが解つたり上から下まで普く社會の階級の者に示して行りそれを防ぐ必要があるのであります、それで斯う云ふ事を見出した時に皆が受入れて呉れるやうに又成るべく澤山の人に知らすことにする、で如何にして斯う云ふ點を知らせることが出來やうかと云ふ問題が起つて參ります。

　米國では衛生の看護婦と云ふ者が出來て居ります、がそれは普通の看護婦と云ふ者は病院の看護婦とか其外に病家に派遣させるのであるがそれは公衆の一般の衛生の看護婦であつて詰り衛生を圖るところの看護婦であります、それを米國で率先して始めたと云ふことは米國の者は非常に名譽あることゝ思つて居ります、で此衛生看護婦と申す者も如何にして皆に注意を示して行つたら宜いのか知らと云ふこ

とに苦心して居りますが、其看護婦は自分は何處の子か知らないが往來を歩るいて居つた時に或る婦人が子供に對して衞生上惡るい事をして居るのを見て置いて今度其人に一緒になつて貴方是れでは子供の爲めにならぬからと直ぐに其處に行つてそれは衞生の規則に嵌まらぬと云ふやうな事を言つて注意を與へる、で是は私共が自分で行つて日本の國であつたら有難たうございますと矢張り自分の事ですから其方に看護婦がお言ひになつた事も聞捨にしてお出でになるだらうと思ひます、それで私の友達で紐育に伊太利人の住んで居る所に行つて伊太利の婦人に衞生思想を鼓吹しやうと言つて居る人も居ります、で私共は元來赤坊の脚は眞直ではなからうと思ひます、それを伊太利婦人は子供の脚を眞直に致しまして全然腰から下を捲いて仕舞ふ、さうすれば下の足の方は動かすことが出來ない、で衞生に就いて言ふと自由にさして置くと云ふのが子供の衞生に適つて居りますのを伊太利人の習慣として布を纏き付けると云ふことをして居るから注意を與へて置いたところが此方のお友達が見に行つた時だけ脫づして居るけれども其方が行つて仕舞つた後には何時も纏付けて居ると云ふことでありました、それで此看護婦が衞生の思想を皆に吹込むと云ふことから此看護婦の人が人から信用を得ないと完全に働くことが出來ないのであるから一つの方法を設けて看護婦等が一緒に住んで居る所を拵へて自分達の助けたいと思ふ人達の近くに家を構へて其處に看護婦を一緒に住まはせると云ふやうな設けを致しました。

それで斯う云ふ婦人達看護婦を働かせる爲めに後援があつてそれは婦人の會であつて斯う云ふ事に興味を有つた人達が金を出して行つて居りまして或時は三人あるのにもう一人要ると云ふやうな時も他に働いて居る人を其處に遣ると云ふ風にして居るで近所の人々の用の時に助けて與れる、其他度々方々を巡廻して相談などにも乘つてやつたらいろ〳〵な事で皆のお友達であると云ふことを知らしめるだけの

有要な事に就いて心配をして遣つて其人に就いての食物の問題などでも此人には斯うしろとか云ふやうに顧問官のやうになつて世話をして遣ります、此衛生看護婦と云ふのは勿論普通の看護婦のやうに從事されて居りますが衛生思想を近所の者に吹込んで其人々をして衛生思想を持たせるやうにすると云ふのが此人々の務めでありますそれですから普通の看護婦以上に働きませぬければなりませぬ、で斯んなにして衛生の事を教へるのでありますから看護婦であり又先生であると云ふ位置に在る人達であります

で斯うして人々を説いて居りますが其人々が仕來つて居る事でいけない事があればいけないと言つて改めさせると云ふ事は難ケしいので別々の習慣になつて居りますから其反對の偏見を持つて居る、其偏見を破ぶることが其人々の爲る事であつて、露西亞人の例を取つて見ますると紐育の露西亞人が子供を育てると云ふのは米國の研究者がいけない、と云ふ所は朝飯に「パン」とお茶を飲ませる、日本の方は子供にお茶を遣つても差支へないとお仰つて居るやうですが米國に於きましてはお茶を子供に與へると云ふことは惡るいと言はれて居りますが露西亞人はお茶の葉を交せた物を沸かして煮立たした物を子供に遣つて居りますが是は子供の爲めに惡るいのであつて子供にはお茶よりはもつと滋養の有る物を飲ませぬければいけないと言つて露西亞人に教へてそれを改良せんければならぬと言つても行らないと云ふ風であるのを見ましても今までの仕來つた事を破ぶるとすれば困難が伴なふのであります

で此前申上げたやうに看護婦を一つの家に住まはして公衆の衛生を教ゆると云ふ爲めに紐育の或街に二十五年前に一つの家を求めまして二人の看護婦が居られましたが二十五年後の今日には百三十五人の看護婦が住んで居つて澤山な働きをして居ります、で看護婦は方々の家を見廻つてやつたりいろ〳〵の事をして自分達の住んで居る附近に衛生思想を發達させやうと心懸けて居ります、私共も其處の看護婦

の居る所に參りました、私共の參る前に日本のお醫者の方が其處にお出でになつて其處の看護婦の多數が連立つて仕度をした又其人の事項を記入するとか云ふ所を繪葉書に取て切拔き帳の樣な物にして實際を說明してある物を言傳があつて參りましたから斯う云ふ事に興味をお持ちになつて居る婦人衞生會の方々には私は悅んでお頒ち致します、で此看護婦は一種の制服を來て、淺黃色の著物で「カラ」と「カフス」は白であつて其著物で以つて自分逹の會の働きを報告する部隊であつてヘンレースキトの看護婦會では場所はマンハッタンと云ふ所やリッチモンド等のさう云ふ所に住んで居る人の爲めに從事されて居ります、看護婦の人手が欲しいと云ふ時には葉書なり電話なりで出して行れば直ぐに其依賴に應ずるのであるからそれに依つて助けて貰らふことか出來るのであります、で此家は街の中の場合でございますが今度は郊外の場合でバッサル大學は紐育の郊外になつて居りますがさう云ふ風な所にも斯う云ふ風な看護婦の働が出來て居ります、バッサル大學は御承知の通り田舍のやうな所に建つて居りますが、バッサル女子大學のやうな者も何か社會の爲めに盡したいが自分は若い者でまだ學生の身分に在る時代で人を訪問したいと思つても直接に助けをすることが出來ないから自分逹の小遣の中を出してお金を集めて衞生の看護婦の給料を拂つてさうして自分の學校の近所に在る人々の助けをしたいと思ひ立つたのであります、で此バッサル女子大學が賴んだところの衞生看護婦は自分專用の自働車を有つて其自働車を以つて方々廻はつて或時に十軒か十五軒位の家の在る村までも廻はつて其の狀態を能く知り先づ病人があつたら勿論能く病人を快くして行る時に依つては大勢を集めても衞生の講演なぞもして行る、廻はつて居る時に彼處に結核性の病氣の人があれば結核性の病氣は傳染する虞があるからこれに對する手當や注意なぞを其人に敎へると云ふ風にする、で子供の中には低能の子供が在る、其子供を普通の子供と一

緒に遊ばして置くことは出來ない、低能の者を打棄てゝ置くと云ふことは社會に對して危險の事であると云ふので低能兒を養つて育てる專門家が研究して養成して居るところの場所もございますからさう云ふ所に低能兒を遣つて其子供の有つて居る天分を何うかしてまあ人間に近いものにしてやると云ふことをする爲めに衞生看護婦がさう云ふ者を見付て皆に注意を與へ方法を講じて行る、斯う云ふやうに看護婦は後援をして行るのでそれには其人達の友達になつて信用を受けるやうにするさうなれば其人の言ふ事は皆が取り上げて呉れるやうになつて其人に大變な利益を得るやうになつて參ります

で此バッサル女子大學で試みましたところの衞生看護婦の働きが非常に成功して近所の者にも矢張り斯う云ふ看護婦を派遣さして衞生思想を皆に吹込むと云ふことを行つて居ります。

で斯う云う風に困難な働きをするには例へば茲に於きましても、私共の經驗で計畫して行なふと云ふには大なり小なり運動を試みなければなりませぬが、今度は國が之を認めらるゝことになつて紐育州でも此頃は個人の財源に據らないで州の金で以つて衞生看護婦を傭入れて小兒の衞生を圖るやうなことを致すやうになりました、それで此小兒衞生思想が足りないと云ふことは社會の爲めに損なことであると云ふ點から合衆國政府もそれに關して小兒局と云ふ小兒のお役所、子供の事を研究する所を建てゝ女の人が頭になつて小兒の事を研究し實行するやうなさう云ふ試を市が致すやうになりました

それを此小兒局の考へた事が小兒の死亡率が大變に米國に多い、何うかしてそれを救ふことが出來ないものか若し小兒の死亡率を私共は皆さんにお聽かせしたら身慄ひをなさるゝ程恐ろしいものでありまして婦人の團體の教育部の方で執られて居るのは七人の子供に就て一人を助けたいと云ふことを計畫んで居ります、で此七人に一人と言つてもなか／＼其事を考へると難ケしい仕事であつて何う云ふ工合に

して私共が組織したかと云ふことを是からお話し申します。

此子供の死亡率を少くする爲めに一つの私共のした試みは赤兒はさう云ふ働きをしやうと云ふ婦人達の住んで居る街の阿母さん達に通知を出して一歲以下の赤兒を女のお醫者さんがあつてそれが衞生看護婦を助けて或る日を設けて一歲以下の赤兒を連れて來させて赤兒の身長を取つたり又體量を計つたりして健康でもつと良い赤兒を得るやうに赤兒の共進會のやうなものを拵へて何處の赤兒は良い赤兒であると云ふやうなことを皆さんに知らせるやうにして居る、此處に其「カード」がございます、で其赤兒を持つて參ると其赤兒の生れ年體の容子から髮の毛顏とか全然赤兒の形から說明してあります、それから二枚目の方は其子供の精神上に就て書き付けて何う云ふ子供は是は何うだとか云ふやうな事を表を作つてあります、で其表が示すところに由つて其子が何處が惡るいと云ふ事も分る、何うも此子は少し發達が惡るいが何う云ふ風にしたら大きくなるかと云ふやうな事を阿母さんは輿論を得ることが出來るのであります。

でどう云ふ風の資格の人が此衞生看護婦になるかと云ふ事を申上げたいと思ひますが、若い人であつて社會の爲めに何か善い事をしたいと思ふ若い女が澤山米國にございます、此昨年の戰に入つてから米國では澤山の看護婦が戰地に行つたり何かして働きして居りますから看護者の不足を生ずるやうになつたのでありますから、何うかして高い階級の者から此看護婦を得たいと云ふので方々に通知を出しましたところがそれに應じたところの者は大學に研究をして居られた人もありました、其人達の爲る事は普通の看護婦の爲ることでなく短かい期間に養成してもつと看護婦の入用になつた時に看護でなくもつと科學的の方面を其人達は研究を致すやうになつて居ります、斯う云ふ看護婦を募集して高い階級の教育ある人達で大學の人が斯う云ふ募集に應じたと云ふ

事は寧ろ其頃は未だ戰爭がこんな早く終局を結ぶなどゝは思つて居りませぬから勿論彼等の愛國心に訴へて戰爭の爲めには辛らい務が必要であると云ふ覺悟をして皆が自分の家を助けたいと此爲めに婦女の養成を受けるのが主意でまだ戰爭が濟まぬに致しましてもさう云ふ仕事は社會の爲に必要で盛んに養成を受けたのである、其人達は是から後も衞生の看護婦として社會の爲めに貢獻する事が出來やうと思ひます、今日は皆樣に印刷した物ばかりお目に懸けて居るやうですが、或方は看護法は國民の務であると云ふやうな事をお書きになつてそれを國中に廻はしたのでありますがそれも婦人方から言へば大變に良い聲を得たのであります、もう隨分長くお話し致しましたから皆樣が御厭きになりましたらうまだお話申したい事は澤山御座いますが、何にしろ婦人が作りました此仕事は社會に何れ位紹介したのであるかと申すと子供が丈夫な者が生れて成年になるまでは中年の如何にあつて健康なる男ともなり女ともなると云ふ境であるから初めの注意それに對する知識を進めると云ふ事が非常な大切な事であつて是は婦人は慰藉の傍家庭に於ける皆樣が家庭以外に獨立の仕事として他にさう云ふ知識を有たぬ風の家庭に及ぼして是は婦人の爲し得る仕事で又非常に意外の益を爲すところの仕事であると思つて働くやうにしたいと云ふのであります

例へば健全なる國民を何して造るかと云ふには一番必要な事は赤兒に對する知識を如何にするかと云ふそれを人々に限なく敎ゆると云ふ事が大切な仕事であると云ふことで米國では今著々と歩を進めて居ると云ふことを皆さんに申上げたいのであります。

で此國民の健康と云ふところの問題、此事に就てお國に參つて以來公開の場所に於て私共は度々お話致して居る問題で是は戰爭に於て亞米利加が習つたところの非常に價値ある研究すべき問題であると私共は信じて居ります、で如何にして健康なる國民となることが出來るかと亞米利加の者は興味を有

つて居るのでそれで皆さんにお話し申上げるのであります。

それで此近日承はるところに據れば貴女方もさう云ふ仕事を東京に於てお始めなさると云ふことですが、斯う云ふ衞生思想を人々に教ゆる爲めに特別な會を設けてさう云ふ婦人を作つてお置きになると云ふ事は大變に良い事で今日いろ〳〵の婦人會を代表してお集まりになつたとすれば其皆樣が共同遊ばして特殊の働に向つて金の有る者に向つて金錢上の後援をなされたなら確に成功することで又非常に興味あることであらうと思ひます、で看護婦等が皆樣の實驗した事を聽く程嬉しい事はないのであると斯くの如く感じましたので貴女方さう云ふ事をお始めになると云ふに就て私は申したいのであります、大變に長い間御清聽を汚がしました。

叢談

頓死し易き體質に就て

醫學士　淺田一

一

頓死と申しますと一寸死にさうもない人が突然死んでしまふことで御座います。常々から注意をして居れば幾分用心も豫防も出來るといふもので御座いますが、今朝までぴん〳〵して居た人が——一時間前まで機嫌よく話したり笑つたりして居た人が急に死んでしまふことになりますと、家族の悲哀と迷惑とは大抵ぢや御座いません。

二

大體瘦せた人と肥えた人とで區別すると、肥えた

人にこの頓死が多いのであります、その多くは卒中と申しまして腦の中で出血する爲に死んでしまふのであります、その他糖尿病、腎臓病などで糖尿病性昏睡、尿毒症等を起して死ぬことが御座いますから肥えた御婦人方は御用心なさらなければなりませぬ。用心の方法としましては、醫者の健康診斷を受けまして、特に橈骨動脈に硬變がないか如何か、血壓が普通の人よりも高くはないか如何か、尿に蛋白が出ないか如何か、又は糖分が出ないか如何かを檢査してもらふので御座います。卒中を起すやうな人は血壓が高いし、動脈硬化症があるのであります。腎臓病の方は尿の中に蛋白及び尿圓壔と申しますものが出て參ります。糖尿病の方は名の如く尿の中に糖分が出て參ります。是等の病氣でなければ先づ安心して可なりでありますが、若し是等の病氣の一でもある御方は充分に御養生なさらなければなりませぬ。

三

痩せた方でも、前から存して居る慢性の病氣を御自分にも人樣からも氣附かれない爲に、外觀上頓死の樣な死に方をせらるゝ方も御座います。こんな人は平素健康な時、又は一寸風を引いた時位にでもしつかりしたお醫者さんから詳しい健康診斷をしてお貰ひになつておかれることが必要であります。お醫者さんは病氣をなほすの許りが職業ではありませぬ、皆樣が病氣にならなければお醫者さんを訪問されないものですから、お醫者さんは病氣治療專門の樣になつて居ります。又病人が多い程お醫者さんの收入が多い。例へばこの間の西班牙風邪の流行で大變に儲けた人があるといふ樣な、まるで病人の發生を喜ぶといふ矛盾した現象になつて居ります。之れは皆樣が平生一月に一度づゝお醫者さんに健康診斷をしてもらひ、其の報酬として一人につき一圓づゝでもお禮をして、若し病氣になれば無料で治療して頂くといふ風になさいますならばお醫者さんは病人の少いほど樂でありますから、平生から健康診斷を

嚴重にし、病氣の發生を未然に防ぐ樣な方針を自然取る樣になるでありませう で御座いますから、家族五人の方は一ヶ月五圓、十人の方は一ヶ月十圓といふ位なお金をお醫者さんに報酬して充分な健康の保證を取つてお置きになることは、不意に罹患してさあ大醫の立診を頼むとか、お醫者さんを何度もかへるとかで大變な費用を一時に失はるゝよりはずつと經濟的かと思ひます。之は進歩したお醫者さん達の考へて居らるゝ意見であります。話は餘談に外れましたが、兎に角平生から充分に健康診斷を御受けになつて心臟病、腎臟病、呼吸器病、殊に結核病などでないか如何かを能く檢診してお貰ひになつて置く方がよろしい。尙「チフス」、猩紅熱、又は流行傳染病は何時來るか分りませぬから、毎月一回の健康診斷の必要な譯でありまして、若し少しく氣分が惡ければすぐ體溫を測る、そしてお醫者さんを呼ぶといふ風になさらなければなりません。體溫器はジールのが宜しいですが、大變こはれ易い上に、今日では大層高價で御座いますから、お醫者さんに御相談の上で適當だと奬められたのをお用ひになればよろしい。「チフス」などでは徘徊「チフス」など申しまして、御本人は御病人でありながら能く御分りにならず、ぶら〳〵出かけたりして居られる間に、急に重くなり、腸出血などを起して死んでしまはれることがありますから、呉々も少しでも氣分に異常があれば熱を測り、一分間内の脈搏の數を何かに記入して之に異常があればすぐお醫者さんをお招きにならなければなりませぬ

四

御酒のお好きな御婦人は少いとは思ひますが、中には左利の御方もないことは御座い升まい、かやうな方は餘程御用心なさらないといけませぬ。かゝるお方は御自分に御病氣の御ありなさることを御氣附ないことが多い上に、酩酊中になくなられることが少くないので御座いますから、旁々御酒は御止めなさらなければなりませぬ。殿方でも御酒は勿論よろ

しくないもので御座いますから、少くとも御子様達には二十五歳位までは一滴も口になさらぬ様に御監督なさらなければなりませぬ。二十五歳以上にもなれば最早や御自分で分別もなさる上に、酒の習慣がないから假令召し上つても大酒又は酒客などの惡癖を得られるやうなことは御座いますまい。私共も二十五歳位まで卽ち大學を出ます時分までは酒や煙草の習慣を作らなかつた爲に、今以て宴席で頂くことは頂きますが、少しも飲みたいなどゝ思つたことがありませぬ、但し甘いものなら欲しいと思ふことが屢ゝあります、之は幼少の頃からの習慣かも知れませぬ。

五

又御老人は御病氣が御分りにならないことも多く且つ既に枯れ切つて御出でになるものですから、僅の原因で、卽ち若いものには死因になりさうもない原因で突然なくなられることが屢ゝ御座います　昔からも年寄の冷水は戒められて居りますが、老人は何處までも老人らしく、決して若い時の様な意地張をなさらない様に呉々も御用心をなさらなければなりませぬ。

六

腎臟の惡い御方は常に尿の檢査をして、食物の用心をなさらなければなりませぬ。ある鳥屋の女主人が、七面鳥の賣殘りを御馳走する爲に、友人や家族と晩餐を一緒にされました所が、その肉は賣れ殘りだけに古かつたものと見えまして皆中毒にかゝりましたが、その女主人公は同席の誰彼よりも一番少く喰べたにも拘はらず、遂にその人だけ死んだといふ話があります。之を見ても、少し腐つたと思ふ様なものを勿體ながつて喰べるなどの卑しい心を起さぬ様にして頂きたい、但し之は腎臟の惡いお方にお話し申すことで御座います、佛様に供へた御飯や冷御飯を溝渠へ流したりする女中は充分に御戒め下さらなければなりませぬ　一粒の米も、百姓が苗を植ゑてから米屋で精白されて皆様の御口に入るまでには

中々の人手間をかけて居ります、又もし一粒の米を田地に植ゑるとしたら之から何百何千の米粒となり、若しこの子粒を皆植ゑたとしたら、數代の後には何石何十石になるかも知れない潜勢力を持つて居るものと思つたら、中々粗略には出來ませぬ。私共は汽車の辨當の御飯粒を殘らず喰べる人を見ると、嬉しく、なつかしい感を生じます。之に反して箱の隅や底や蓋に一面に御飯粒のついたまゝ棄てられる御方を見ると、勿體ない人だとその人の顔を睨んでやります。また話が横に外れました　話は腎臟病の方は腐つたものをお上りになるなといふことでした、但し蓋についた御飯は御上りになる方がよろしう御座ります。少しでも腐つたものは女中にも犬、猫にも御やりにならず、御棄てになつた方がよろしう御座ります、御飯なら糊になさることが出來ませうが、肉の腐つたのは仕方がありませぬ

七

心臟又は諸所の動靜脈に病氣のある方は非常に危險であります　この間熊谷で心臟の惡い婦人が、齒のお醫者さんにぐら〱して居る齒を拔いて貰ふなり死んでしまつて大問題をおこした例が御座います。凡て齒の外に病氣があつたり、熱があつたりした時には、齒を拔いたりなどしてもらはぬ方がよろしう御座います。精神の興奮や、ダンス、舞踊のやうなものも、心臟血管の宜しくない方には爲に御惡うございます、殊に黴毒性の大動脈中層炎のやうな疾患は非常に頓死を起し易いものでありますから、黴毒のやうな病氣は驅黴療法により充分根治して、かくの如き大動脈中層炎の起らぬ樣に御用心なさらなければなりませぬ　結核は左程恥かしい病氣でないが、黴毒といふと非常に恥づべき病氣の樣に思ふ御方などは、自分に覺がないからそんな病氣のある筈はないと頑張られるでありませうが、黴毒も必ずしも恥づべき行爲からのみ傳染するものではなく、且又殿方に全然かゝる忌むべき病氣がないとも斷言出來ない御方は、その御病氣が御婦人に傳染

するのは止むを得ないことであります。唯今では、黴毒は血を取つて調べますと大抵診斷が付きますから、近頃は之の有無を檢することは何でもないことであります。

八

御婦人は時々子宮外妊娠をなさることが御座います。これは子宮の中で妊娠しないで、胎兒が喇叭管の中などで發育致しますので、こんな時には胎兒が發育するに從ひまして喇叭管は遂に破裂するに至るので御座います。この時に多量の血液が腹腔内に漏れまして、所謂失血死に陷ることが御座います。これは割合に妊娠の初期に起りますので、御自分に妊娠であることに御氣附のないやうなことが多いですから、月經の不順でもありましたら直に婦人科の御醫者さんに御相談なさる方が安全で御座います

九

何かの怪我で骨折をしたりした場合に、骨髓の中の脂肪が血中に吸收されて、これが肺の毛細管を栓塞しまして、窒息と同じ現象を生じ、骨折後一日位の間に死んでしまふことが御座います。

十

飽食の後には往々頓死に陷りますから、飽食後は一時間位安靜を保たれる方がよろしいかと存じます。鱈腹召上りものをされたあとで、舞踊などをなされて横腹を蹴られた位のことで死んだ人の例が西洋には少くないのであります。飽食後何かの刺戟で頓死し易い場所は、後頭部と脾腹とであります。それから妊娠して居る方の子宮は非常に鋭敏でありまして、こんな方の子宮に何か墮胎の眞似事でもすると、直に一般神經機能が止つて死亡することが稀ながらありますから、妊娠子宮を持つて居らるゝ御婦人は大事にせられなければなりません。

十一

胸腺淋巴體質といふことは、能く醫者仲間で申す言葉であります。これは外診では能く分りませぬが、一般に腺增殖の多い人や、生殖器發育の惡い人

などには之を想像することが出來ます。こんな人は極めて僅かな外因で脆くも死んでしまふことがありますから、充分に御用心なさらなければなりませぬ。血清の注射などを受ける際にも、豫め「アドレナリン」の注射でも受けた後に血清を注射してもらふといふ風にされなければなりませぬ。豫め「アドレナリン」を注射すればよいといふことは近日國光學士が御發表になるでありませう。

十二

御子供衆は甚だ死に易いものであります。ここに嬰兒は死に易いのであります。これ子供は病氣が能く分らぬからであります。これも熱と脈とを毎日の様に測つてお上げになりますと、大事に至らぬ先に變常を見出すことが出來、手遲れせぬ間に御醫者様に御相談なさることが出來るのであります。疫痢又は消化不良といふ病氣も隨分厭な病氣で御座いまして、急劇に死の轉歸を取らすものでありますから、大便に異常が御座いましたら、躊躇なしにお醫者さんの御厄介におなりなさらなければなりませぬ。かう申しますと、小兒科のお醫者様で子供衆をおなくなした方が隨分澤山お出でですといふことを以て抗辯せらるゝ方があるかも知れませぬが、これは第一自分の家族では、お父さんと親しみ過ぎて云ひ聞かす養生法なども家族が能く遵奉しなかつたり、第二外來患者又は往診の多忙に取紛れて、家族の診察は怠り勝になつたり、第三初は多少病氣を見縊つて能くも見ない癖に、少しく重くなると急に心配をして騷ぎ出すが、既に手遲になるといふ様な理由で、素人に比して却て子供を亡くすることが多いのでありませう。素人は初に先づ信頼すべきお醫者さんを極めて置いて、その方に駈け付けて診察治療を請はねばなりませぬ。今一つ注意すべきは、子供は熟睡中には蒲團や乳房で僅に氣道の入口を蔽はれる位のことで容易く死ぬことがありますから、大事な御子供様殊に嬰兒時代には、湯「タンポ」で暖めた獨立の寢牀に、蒲團を餘り深く著せぬ様注意しつゝ別に寢かす方が

よろしいかと思ひます。少しく大い子供は、自分で蒲團を脱いで風を引いたりしますから、母御と一緒に寢られた方がよろしいので御座います。この位の年輩の子供には、前申した熟睡中の氣道閉塞による死亡などが偶發することは殆んど御座いませぬ。御子供衆に瘡疹など出來た場合には、すぐ皮膚科のお醫者樣におかけにならなければなりませぬ。餘り擴がつてからでは之を急に治しても、却て頓死を招く樣なことがあり、というて放て置けば益々弱りますから、極初期に治療すべきであります。

十三

要之、病氣を早期に見出して其手當をするといふことが最も頓死豫防に必要なことであります。心臟病、胸腺淋巴體質、動脈硬化症、腎臟病等、最早や根治せぬ病氣と極れば、過激なる心身の勞力を節する樣に心がけ、呑氣な生活をせなければ何時頓死が來るとも限りませぬ。卒中や心臟病などは、便所できばつたり、御湯で暖まる位で死ぬことがあるので御座います。以上は誠につまらない御話で御座いますが、これで多少平時の健康に留意することの必要を御悟り下さることが出來ましたならば、啻に私一人の光榮のみならず、國家の爲に祝福すべきことであると申さねばなりませぬ。

アルコホールの話

醫學士　福田得志

禁酒運動は今や世界的大運動となつて、歐米の先進國には既に法律を以て禁酒を令してゐる處もある。然るに翻つて我が國の狀態を見ると却々そんな所ではなく、昨今の米價騰貴の對應策として貴重なる米を有害無益なる酒の釀造に消費することを防止せんとする酒造禁止乃至制限問題すら今回の議會に提出されるとかされないとかいふ位で、吾が國の禁酒問題は前途尙ほ程遠しである、禁酒運動をして有

効ならしむるには、各家庭に於て禁酒を勵行するに如くはなく、家庭内に禁酒法を布くには、一家の主婦たるものがよく飲酒の有害なることを辨へて、主人を諫め子女を誡むるに勝ることはない。歐米の禁酒運動が今日の如く旺盛になつたのに就ては婦人の力に俟つ所決して尠くない。我が國に於ても社會的に個人的に婦人覺醒の機運に遭遇してゐる今日、「アルコホール」問題に就ても婦人の猛省を要することと思ふ。

「アルコホール」の社會的或は道德的害毒に就て說くのは私の分限外であるから、私は唯「アルコホール」が一種の藥物として人及び動物の精神並に身體に如何なる作用をなすものかと云ふことに就て少しく述べて見たいと思ふ。

「アルコホール」が酒の主成分であつて、酒が人の身心に害を及ぼすものであることは、誰しも漠然と考へて居ることであるが、其知識が甚だ不徹底であるために、禁酒しようと云ふまでの決心が出來ず、又これを斷行するだけの勇氣がないのである。先づ吾々の知らねばならぬことは、「アルコホール」は有害であるか如何か、有害であるとすれば其有害の程度はどの位であるか、その有害である理由は何によるか等の疑問である

先づ「アルコホール」は有害なものである。酒は百藥の長など云ふ語があつて、素人の間には酒の功德を喋々するものが却々尠なくない尤も少し許りの酒で何となく爽快を覺え所謂陶然たる微醉に入るときには酒は此上もない靈藥のやうに思はれるかも知れない。又少しの酒で顏面の潮紅を來し面白可笑しく話し或は少し醉つて來ては大聲叱呼したり、勢よく飛び廻つたりして居る人を見れば酒には精神及び身體を興奮せしむる作用があるらしく思はれる。然しこれは皮相の觀察であつて、この爽快や興奮は決して生理的のものではなく、これは「アルコホール」中毒の初期の症狀に外ならないのである。「アルコホール」の興奮は眞個の興奮ではなくて、精

神及び身體の興奮を制止するところの一種の神經の麻痺したるために起つた外觀上の興奮である。例へば人の身體は汽關車の如く一種の「ブレーキ」があつて調和した作用を營むものである。「アルコホール」のためにこの「ブレーキ」たる制止神經が麻痺すると、丁度「ブレーキ」を失つた汽關車のやうにその勢は凄くとも、これは病的の興奮であつて、何時衝突や脱線の危險が起るか分らない。

初めの內は制止神經の麻痺ばかりで、興奮狀態を呈するけれども、段々と醉が廻るにつれて、大腦の働きが麻痺して來る、さうなると言葉の呂列が廻らなくなつたり、話の辻褄が合はなかつたり、同じことを繰り返したり、まるで精神病者に見るやうな麻痺の狀を示し、次に昏睡狀態に陷るものである。初めの興奮期には無暗に氣が荒く且つ放蕩的になると同時に道德的判斷力が麻痺するために、色々な亂暴や不道德を働くことがある。

これが急性「アルコホール」中毒の概略であつて、これは飲酒のために直接吾々の眼前に表はるゝ狀態であるけれども、この外に、尙は恐るべきものは「アルコホール」の慢性中毒である。少し宛の酒を毎日愛用してゐる人にはその直接の影響として前に述べたやうな症狀を呈することはなくても「アルコホール」の毒は深く〱身體の深部を侵して取り返へしのつかないやうな障碍を殘すものである。これに就て亞米利加の生理學者ホッチ氏は有益な實驗を試みた、それは、同じ親猫から生れた仔猫の中から丈夫で元氣さうなのを二匹だけ選びて、これに牛乳に「アルコホール」を混せて、飲ませることにした。これを十日間續けてゐたところ、この二匹の小猫は樂しさうに遊ばなくなり、發育が惡く、自分の毛を舌で舐めてお化粧もせず、眞に見すぼらしい有様になつた。又これに二十日鼠を見せても捕へやうともせず、犬を示しても遁げやうともしなかつた。眞に魯鈍な、無頓着な小猫となつて終つたのであつた。これに反して、他の「アルコホール」を與へなかつた

小猫は日に日に發育しよく遊び、二十日鼠を見ては追掛け、犬を見ては尻尾を高く振り立てゝ噛み合ひ自分の毛皮は綺麗に舐めて居たと云ふことである。これによりても「アルコホール」が如何に小猫の發育を阻害し、生活を遲鈍ならしむるかと云ふことが判る。次にホッチ氏は小犬に就て實驗を行つた。同じ腹から生れた小犬四匹(二匹は雄、二匹は雌)を二つの籠に分け、一方の籠に雄と雌とを一匹宛入れて普通の餌を與へ、他の籠にも雄と雌とを一匹宛入れて「アルコホール」を少し混ぜた餌を與へることにした。ホッチ氏はこれを約三年間に亙りて「アルコホール」を少し宛續けて飲ませて居たが三年の後には、「アルコホール」を飲んで居た犬と、飲まなかつた犬との間には著しい變化が見出された。その經過の間に丁度滿二ヶ年を過ぎた頃に犬の流行病があつた。その折に第一番に冒されたのは「アルコホール」を飲んでゐた二匹の犬であつて、二匹とも酷く衰弱して餓死しさうになつたが、よく手當が行屆いたゝめに數週間の後に恢復はしたが、その恢復には普通の犬よりもはるかに時日を要した。「アルコホール」を與へてなかつた方の二匹の犬は些かに二、三日の間不機嫌さうに見えたが食慾も大して惡くなく、痩せ衰へたる形跡も見えなかつた。卽ちこれによりて見れば、「アルコホール」を飲まされて居た犬は、病氣に罹り易く、病氣に罹つたら、却々重病になり易く、且つ罹病日數も長いことが判つた。ホッチ氏はそれから更に研究を續けた。こん度は犬の頸輪に小さな機械を括り著けて、犬の運動を數字で讀むやうにして、どの犬が一番活潑に運動するかを見ようとした。「アルコホール」は身體の活動を旺盛ならしむるものとは普通に信ぜられて居る所であるけれども、事實は全く反對であつて、「アルコホール」を飲まされて居た犬は、他の犬に比して些かに半分だけしか運動をしないと云ふことが、この實驗で明かになつた。或時ホッチ氏はこの四匹の犬を運動場に伴れ出して、投げたる毬を口に咬へて持ち還るやうに敎育し

て、これを百回だけ繰返して見たるに「アルコホール」を飲まされたる犬の毬を持ち還る回數は「アルコホール」を飲まされなかつた犬の半數に達せなかつたのみならず「アルコホール」を飲まされた犬はさうでない犬に比してこの競技で非常に疲勞を覺えたやうに見えた。その外、「アルコホール」を飲まされなかつた犬は人に呼び掛けられると慣々しく尾を振つて近づき、何か異樣な物でもあると好奇的に見物に出掛けたり、或は不思議なものに對して吠えたりするけれども、「アルコホール」を飲まされた方の犬はおづ／＼として一寸の物事にも恐れをなし、見知らぬ人が來ると尻尾を卷いて室の隅に隱れようとする風が見えた。

かくして三年の間「アルコホール」を續けたる後、ホッヂ氏は「アルコホール」を與へることを止めて、恢復の有無を檢べて見ようと欲した。二匹の中の一匹はその後日ならずして斃れたが殘りの一匹は其後著しく丈夫になりて他の犬に殆ど劣らない程になり、今度は運動も活潑になりて毬取りの競爭も他の犬に負けぬやうになつた。かくして段々健康に復しつゝありしが、數年の後に兩眼を煩つて遂に全盲となつて終つた。ホッヂ氏は尙ほ雙方の配偶より生れた小犬に就て觀察を續けたが、四年間に「アルコホール」を飲まされたる方の一對よりは、二十三匹の小犬が生れたが不具の小犬と、死んで生れたのとが隨分多數で、生き永へたのは僅かに四匹に過ぎなかつた。「アルコホール」を飲まされなかつた方の一對よりは四十五匹の小犬が生まれ、その中四匹が少しく畸形を示した切りで後は皆よく育つた。これによりて「アルコホール」が犬の子孫に如何なる害をなすかを知ることが出來る

一昨年の秋から冬にかけて、私は毎日少し宛の「アルコホール」を兎に飲ませて見たことがある。それは他の目的のために行つた實驗であつたが、丁度今述べたホッヂ氏の實驗に等しいやうな結果を得た。「アルコホール」を飲ませた兎は他の兎に比して段々氣

力が衰へるやうで、籠の中に跳ねることが少くなり、隅の方に蹈まつてゐる風が見え、食慾が進まずに體重はだん〳〵減じて、早いのは一ヶ月位で斃れたのもあつた、多くは冬の寒さのために數ヶ月の中に死んで終つた。皮膚の所々には膿を持つた腫物が出來、或は體中の毛が脱けかゝつたのもあつた。これ等の點から見ても「アルコホール」には身體の生活力を弱めて、色々の病氣に罹り易くする作用があることは考へられる。

（未完）

眼精安養法

莊司秋次郎

斯樣な題を掲げますと何だか大變勿體らしいが、その實別に纏つたことを申上げるのでも御座いません只目を大切にするのには如何な事を守ればよいかと云ふことは屢〻受ける質問でありますから、それに答へる積りで眼精安養法などゝ云ふ題を掲げたに過ぎませんが、恰も昨今は木の芽時で概して眼病の多くなる時節でありますから、此際眼病に關する種々の事柄を一括にしてお話致したならば自然目の養生法を御會得になる所もあらうかと存じて、只順序もなく思ひつき次第に述立てゝ見やうと思ふのですから、御覧被下る方は、其中で御自分に多少關係のある處だけ御讀み被下れば結構な譯であります。

一體、目を氣にして、何うしたならば眼を健全に保つことが出來るであらうかと御尋ねになる方は、大抵自分の家族の人が重い眼病で失明したとか、親友が眼病で難儀をして居るとか乃至は自分が嘗て眼病に苦むだことがあるとか云ふやうな因縁で御尋ねになるのでありますが、實は健全な眼に對して特別の養生法と云ふべき程の事もないのであります但し種々の工場のやうな處に於て眼が特殊の危險に暴される場合は別でありますが、然し普通人が普通の生活をして居る間にも、多少眼に就て顧慮しなければ

ならぬ事も無いではありません

　元來健全な眼を有して居る人は、自ら眼があると云ふことさへも氣がつかぬのが持前であります、何ぞ小さな塵埃でも入ると忽ちゴロ〳〵する、涙が出る、物を見られなくなる、そこで初めて今迄絶えず物を見て居つたこと、眼が働いてゐたことに氣がつくやうなものであります。斯樣な譯で、吾々の眼と云ふものは、起きて居る間は絶えず働いて居るのであります。而かもその構造は極めて幽微に、その機能は最も美妙なものである、且つ半ば骨に圍まれて居るが、半は眼瞼といふ皮瓣を以て覆はれ居るだけで、それも絶えず開閉して、黑目の大部分と白目の一部分が常に外界に暴露されるといふ、考へれば隨分危なかしい仕掛であります。然るに、この幽微精巧の器官が、普通の衛生を守りさへすれば七十年、八十年、時に百年も略ぼ健康狀態に保たれるといふは寧ろ不思議な位のことで、實に造化の妙と嘆ずるより外はないのであります。

　斯樣な危げな巧妙の器官が、比較的よく保たれると云ふのには、又それ相應の自然的保護裝置が備はつて居るからでありますが、通常人はこれを自覺して居りません　眼の方は立派に拔目なく働いて居るけれども、その眼の持主は更にこれを御存知がない、その爲めに隨分知らず識らず眼を虐待し、難儀をかけ、最後には自分でその因果を身に負はねばならぬやうな事にもなるのであります。それで眼の衛生には、眼の解剖生理の大要を心得て居ることが一番必要なことになるのであります。と申して今これを委細に申述ぶることは困難でありますけれども、先づ一寸何方でも外から觀察の出來る點だけに就て御覧になりましても、第一に眼瞼、睫毛、眼球等の活動してる所が御分かりになります。

　眼瞼は上眼瞼と下眼瞼とありまして、共に一枚の皮膚瓣に過ぎませんが、扨て解剖上に於ては、外側の皮膚だけではない、内面には所謂結膜と云ふ粘膜が張られて居る、この皮膚と結膜との間には又筋肉

もあり、血管も神經もあり、殊に眼瞼には眼瞼軟骨といふて、その實軟骨ではないが軟骨のやうな硬い組織があり、尙その間には種々の分泌腺もあるといふやうな譯で、かなり複雜した組織になつて居ります。尙こゝに一つ忘れてならぬものは、上下眼瞼の緣の內背に近い處を熟く御覽になりますと一箇づゝ小さな孔があります、これは小淚點と申しまして、これから鼻の方へ淚を吸込むで行く、つまり淚液の流口の始の處であります。

それから睫毛は、眼瞼の緣の前の處に於て、その尖端が少しく外方に向て生えて居る、上眼瞼には百二三十本二重に生えて居り、下眼瞼にも短かいが七八十本生えて居ります　只今眼瞼の緣と申しましたが、眼瞼の緣は狹いながらも前緣と後緣とがありまして、その間にはマイボーム氏腺といふて、脂肪を分泌して眼瞼緣を滑澤にし且つ淚の溢れ流れるのを防ぐ、その腺の排泄管口が竝列んで居ります。

次に眼瞼を反轉して見ますと、眼瞼の裏は所謂眼瞼結膜と云ふて滑澤な粘膜であります。この結膜は引續き眼球の前面を被ふて居ります、卽ち鞏膜といふ眼球の外壁を成して居る所の強い膜の上に被さつて居る。それから黑目、卽ち角膜が、丁度時計硝子の如く、鞏膜に嵌まつて居る、嵌まつて居ると申しましても取脫しは出來ません、只鞏膜輪と云ふ部分に於ける角膜と鞏膜との關係が時計硝子と時計側との關係に似て居るといふ迄のことであります。又俗に黑目と申しますが、角膜は透明なもので黑いものではありません、只その後に虹彩が透見せられるので黑い樣に見えるのであります。虹彩は人に依て種種の色がある、卽ち黑目の人もあれば茶目の人もあり、西洋人の如く碧眼又は灰色の目もあると云ふやうに、その色素の加減で種々の色を呈する譯であります。この虹彩の中央が所謂瞳孔で、圓い孔になつて居り、光線の度合、又精神感動等に由て散大したり收縮したり致します。

以上は先づ普通誰にでも觀察の出來る、眼の外部の狀況の概要でありまして、これが完全に働いて居れば先づ外眼部だけは——內眼部、殊に屈折機等に就ては又限りもなく複雜な事柄がありますけれども——健全であると云はれるのであります、が、その完全に働いて居ると云ふのは如何なることかと申しますと、眼に痛いとか痒いとか云ふ刺戟がなく、眼脂などの分泌物が多くなつて物を見るに邪魔になると云ふやうなこともなく、目が赤くなつたり、コロコロ異物の感があつたり、羞明かつたり、淚がこぼれたりすることもなく、一言に云へば何の感じもない、これが完全に眼が働いて居る證據でありまして眼球の表面は、瞬目する每に眼瞼結膜に依て掃除されて、常に清潔に寶珠の如く輝いて居ります、今その掃除の具合をざつと申して見ますと、先づ淚腺と云ふて、淚液を分泌する所の腺が眼窩の上外壁、卽ち眼球の上外方の處に在りまして、常に少しづゝ淚液を出し、これが眼球と眼瞼との間に流をなし、瞬目するごとに、恰も口唇を以て水晶の玉を舐るが如く、眼瞼結膜は眼球の前面を拭ふて塵埃を拂ふと同時に淚液を以て角膜及び瞼球結膜を潤ほし、異物を洗ひ流し、又その淚が溢れ出さぬやうに、前に述べました淚小點から、少しづゝ結膜囊內の淚液を鼻淚管の方に吸込むで行くのであります。

前に述べました眼の構造には、總て斯樣にそれぞれの意味があるのでありますから、此處に何か一つ故障が起れば、忽ち種々の症狀が現はれて來る譯であります　今申述べました所に就て申しますならば、例へば神經の痙攣或は麻痺、その他種々の事に由て眼瞼の自由がきかなくなり、完全に瞬目も出來ず、充分目を閉づることも出來なくなる事があります　斯樣な場合には、前に申しましたやうな眼球面の掃除が完全にゆかなくなりますので、眼球の表面は乾燥し、容易に損傷を被むり、種々の黴菌に侵され易くなり、特に角膜には危險なる潰瘍を生ずると云ふやうな譯で樣々の危險、故障が簇發して參りま

す。これに依て見れば瞬目といふものは、如何に重要の意味を持つて居るかと云ふことが解ります、のみならず、小蟲が眼に飛込まうとするとき、更に炭火の撥る時などに當つて、その電光石火の如き機敏なる瞬目は、どの位眼球の危害を防禦するか知れません。凡て斯樣な場合には、前に申述べた上下の眼瞼緣は水も漏らさぬ程密接によく相觸接し、その際上下の睫毛が恰も鹿柴の如くに上下から相交はつて外物を彈撥し且つ防禦するのでありますが、更に此際眼瞼の陰で眼球は如何なる狀態にあるかと申しますと、その危險襲來と見るや、先づ瞳孔が急に縮小すると同時に、貴要なる角膜は、骨から成つて居る上眼窩に向つて逃竄する、それで眼球は此際上轉して、正面には最も堅固な鞏膜部を以て對して居るのであります。何と人の眼は賢明利發で且つ敏捷なものでありませう。そして若し過つて砂塵等が結膜嚢内に飛込む時には、その刺戟に應じて忽ち涙液を流注して、これを流し出さんとし、その毒力を薄めんとし、消毒せんとするのであります。

右は單に外眼部の機能の一端を申し述べたに過ぎません、その他の巧妙なる眼機能に就てお話することになれば、到底數回に亙つても盡すことが困難でありますから、その方のお話は此位に止めまして、次に少しく所謂安養法に就て申上ることゝ致します

前段に申述べました如く、眼球、特にその最も大切な角膜は、眼瞼の瞬目運動に依て淨められ且つ潤ほはされて居り、其他の部分も常に眼瞼に依て庇護されて居るので、終日絶まなし眼を使ひましても格別害を受けずに濟むのであります。併し眼も終日終夜休憩なしに使はれては到底たまるものでありません、偶ゝ徹夜致しますと、翌日は充血し、分泌物が多く、物を見ても容易に疲勞し、これを强ひてやれば頭痛がして參ります。それで夜分睡眠時には自然眼が閉づると云ふことは甚だ大切な自然の機制で、これが私の申します自然の眼精安養法であります。

これから考へまして、私は甚しく眼を勞する人に對しては、日中でも出來るだけ數次閉目することをお勸め致すのであります。如何なる仕事に從事する人でも、瞬目もしない人とてはあるものではありません、併しこれは極めて敏捷に行はれますので、少しも苦にならず邪魔にもならず、殆んど自覺なしに不隨意的に行はれますが、これが前にも申す通り、どの位眼の爲めになつて居るか分かりません。それで私は、機會のある每に、成るべく閉目することをお勸めする、決して長時間を要しない、例へば讀書の間にも、作文の間にも暫時讀まず書かぬ時がある筈です、即ち一寸考へる時がある筈です、その時間を利用して一分間でも二分間でも目を閉づる、つまり瞬目運動を故意に緩慢にすると思へば宜い、これでも眼を休める效は少なくない、況んや衆人雜居の席で、愚人の談義などを聽くときには目を閉づるに限ります。どの位眼精を安養すると同時に精神を安樂にするか知れません、場合に依ては特更閉目して良い考の湧いて來ることもあるのですから、その機會每に目を閉づる習慣をつけるが宜いと思ひます。これ程の機會は、實際如何に忙しい仕事をする人にでも與へられる譯でありますが、これを實行して見ないと、何だか左樣な暢氣らしい時間は少しも無いやうに考へられます、併し實際は甚だ屢〻あるのであります。

次には時々遠方を視ることでありまして、これが亦眼精安養法の一であります。その理由を說明するには又少しく眼の屈折機と云ふことをお話しなければ解からぬのですが、それを極く簡單に申せば、吾吾が同一の眼を以て非常に遠い處の物を視ることも出來れば、至て近い處の物も明かに視ることの出來ますのは、前に申しました虹彩の後に、水晶體と云ふものがありまして、それが膨隆れたり扁平くなつたりすることの出來る活きた「レンズ」であります。そして吾々が近い處の物を明かに視るのにはこれを膨隆らし、遠い處を視るに隨つて、その力を弛めて扁

平くするのであります、つまり視る物の遠近に依てこれを調節するのであります。それで近い處を視る程、この調節の爲めに眼が努力するのでありまして特に遠視眼の人が近い處の物を視るのには非常に眼を努力するので、容易に斜視になつたり、頭痛がしたりするものであります。それですから吾々が讀書をしたり裁縫をしたり致します場合には幾分調節機を勞して居る譯で、これにはその「レンズ」を脹隆したり扁平したりする所の調節筋といふものが働いて居ります。これを無理に働かせますと往々種々の視力障碍を來すことがあります、時にはこれが爲めに遠視の人が反對に近眼の樣な狀態を呈し、誤つて近眼鏡などを掛けて居ることがあります。斯樣な理でありますから、常に近業に從事する人は、時々遠くを眺めるのは、その調節機を休ませることになるので眼の安養になるわけであります。俗に青い物を見るのは目に藥なさうなと申すことをよく聞きますが、これは單に青いその色だけではない、我邦の人は綠色をもアヲと申しますが、つまり綠色、即ち草木の色、從て野外、少なくとも庭園などを眺めるのは眼を安樂にする從つて精神を慰安する效があるのを認めたものと思はれます。

それから薄暗い處、即ち光線の不充分な處で書物を見たり仕事をしたりすることの惡いことは誰でも御承知の事で、非常に眼を勞するものであります、特に小兒などはこれが爲めに近眼にもなります。それで凡て仕事をする時には成べく明るい光線の充分な處でしなければなりませんが、光線の反射を直接眼に受けるのは害があります。即ち日向で讀書することなどは甚だ有害であります。これと同じく夜間の燈火も成るべく明るいがよい、然し人工光線は、明度を增すに從つて熱度の增し方も著しく、種々の有害光線を含むので、殊に「ランプ」として卓上で用ゐる場合には眼との距離が近い爲めに兎角有害になります。行燈や蠟燭の燈火は、熱を感ずることも少なく、誠に眼に軟かに感じますから、大まかな仕事

はこれでも宜しい、書物も昔の漢籍の樣な一寸四方もあるやうな木版本でもあれば差支はありませんが、今日の樣な小さな横文字の活字本などを讀みますには非常に眼を疲らします。瓦斯「ランプ」は明るいが、熱が高く紫や黄の光線が混ずるので眼の爲には感心しない、其他種々の「ランプ」もありまするが、今日の所では普通使用されて居る電燈が先づ〱一番宜しいのであります。但しこれも成るべく直接の反射を受けないやうに、成るべく強い燭光の「ランプ」で、而かも成るべく眼との距離を遠くして仕事をするやうにするが宜いのであります。

尙ほ人が普通讀書する時の樣に下を向いて頭を垂れて仕事をするのは眼の爲めに宜しくない、結膜炎その他麥粒腫等の如き些細の眼病のある場合でも、斯樣の姿勢が眼の爲めに宜しくないことが覿面に感ぜられるであらうと思ひます。矢張見臺位の角度で讀書その他の仕事をするのが眼の爲めには宜しいわけであります。

最後に、特別に眼を勞する人は、度々眼を冷やすやうにすると宜い、これは唯の冷水でも宜いが硼酸水の如きものなれば更に結構である。眼の勞れたやうな氣のする時には一「プロセント」位の微溫の食鹽水で罨法すれば殊に快よいものであります。卽ち茶碗の樣なものに硼酸水なり食鹽水なりを入れて、これに脫脂綿又は「ガーゼ」の塊を浸し、それを割箸で挾むで一回五分乃至十分間位づゝ度々眼を冷すやうにすれば確かに眼がさつぱりして心持のよいものであります。のみならず、種々の眼病の豫防にもなるわけであります。

健康の眼の安養法としては、先づ此位に止めまして、昨今多くなりかけてくる春前の眼病に就てお話致し度いと思ひましたが、餘り長くなりますので、詳しいことは申上げかねますので、極く大體の處を一言申述べて本篇を終ります。さてこの木の芽時に眼病が急に多くなるといふことに就きましては、季候や食物などの關係から直接人間の身體が影響を受

けて眼病を發し易くなると云ふ點もありませうが、それは非常に複雜した關係であつて遐かに說明することは困難でありますが、それよりも此頃の季候になりますと、平素眼の內に居る黴菌、即ち結膜囊內に居る細菌共が活動し始めると云ふことは事實でありまして、これが眼病を多くする第一の原因であらうと思はれるのであります。尤も何時でも是等の細菌が常に結膜囊內に棲息して居ると云ふわけではありませんが、分泌物を檢査致しますと屢〻發見されるものでありまして、頗る性質の良くないものが多いのであります。然し眼の健康な場合には縱令斯樣な細菌が居つても格別害をなし得ないのであります。それが一旦何等かの機會を得ますと、往々暴威を逞しうして結膜に炎症を起し、角膜に潰瘍を作り、眼內に膿を生じ、非常に苦痛を與へた果句に失明せしめると云ふやうなことにもなるのであります　その眼に仇をする細菌類を舉げて見ますと、實扶的里菌、肺炎菌、葡萄狀菌、枯草菌、乾燥菌、連鎖狀菌、重桿菌、コッホウィークス氏桿菌、淋病菌、腦膜炎球菌、フリードレンデル氏肺炎菌、大腸菌、「インフルエンザ」菌、綠膿菌、加答兒性球菌など〻云ふ種々雜多の細菌でありまして、これが一種だけ惡作をすることがあり、又二三同盟して仇をなすこともあるのであります。且つ是等は單に結膜囊內だけを住家とするのではありません、前に申上げた小涙點から侵入して鼻の側の涙囊と云ふ部分に陣取り、其處から逆に結膜囊の方へ押寄せて來て大事を惹起すことも少なくないのであります。この涙囊は又下の方は鼻腔に通じて居ります爲めに、鼻や咽頭の方から種々の細菌が匐ひ上つて來ることも出來るのであります。かう云ふ譯でありますから、春前になつて是等の細菌が活潑になり、繁殖し易くなつて來る所に以て來て、屢〻感冒に罹つたり、塵埃の多い風に吹かれたりして、結膜が充血したり小さな損傷を被むつたりすれば勢ひ眼病を發し易いわけであります　尙又春季加答兒など〻申しまして「トラホーム」に似た一種の結

膜病があつて、これは必ずしも春と限つた譯でもありませんが、春に起り、如何に治療を加へても容易に治癒せず、秋に至れば大抵自然に消散し、翌年の春になれば再び前年と同樣の症狀を呈すると云ふやうな變な眼病もあります。それのみならず、輕度の近視、遠視、又は亂視と云ふやうな屈折機の異常も春に初めて氣がつく人が多いやうであります。その度の進んだのに氣のつくことも春に多いやうであります。これは一は此の季節には兎角神經が過敏になり、輕い神經衰弱と云ふやうな氣味の人が多いのと矢張幾らか結膜の分泌物が多くなつて目がうるさくなるので、僅かの屈折異常も邪魔になつて來るのであらうと思はれます。

是等の春前の眼病に對しては、先づ外出などをして家に歸つた時には必ず洗面する、これだけでも餘程豫防の效がありますが、人の手拭や、電車の吊革につかまつた手などで眼を擦らぬことに注意しなければなりません、春前の眼病は傳染性、又流行性のものが多く、それと云ふのも皆メヤニ卽ち眼病の分泌物が媒介をするからであります。特に風眼と云ふて、淋病性結膜炎の傳染の恐るべきことは何人も御承知のことゝ存じます。「トラホーム」とてもその通り、皆知らずに患者の分泌物から傳染るのでありますから、疑はしい場合に手や面を洗ふことは甚だ大切なことであります。そして若し少しでも眼が變だと思ふた時は直ちに眼科醫に御見せ被下ることは極めて必要なことで、流行性又は傳染性の眼病は一刻の違ひで、直ちに病勢を頓挫せしむることも出來れば、如何程治療を施しても容易に治癒し難く、或は失明の不幸に陷るにも至りますから、疑はしい時には一刻も早く適當の治療を受けられることが、どの位利益か知れません。昨今の如き流行性眼病の多い節に、賣藥の點眼藥などで手療治を試みるのは決して危險なしと申されません。

育兒

感冒の流行を機會として

高島平三郎

「スペイン」風と呼び世界風と呼ぶ稀有の流行感冒が頻回我國を侵し來つて日々少からざる人命を奪つて居る。之が爲めに小學校を初め各種の學校も度々休業した程である。從來感冒の流行も隨分屢々あつたが此度ほど猛烈な例は少い。然るに醫學上その病原さへ明ならず治療法も從來因襲的に行はれて居るもの丶外殆んど變つたことは無いやうである。それ故止むを得ぬ事でもあらうが（一）各自一般の注意も（二）官憲の注意も、殊に（三）學校の注意も足らぬやうに思ふ。

併し余は今兒童教育の立場より一層徹底的教訓の望ましい事を述べるに止める。一體學校を休業にするのは何の爲めであるかといへば、いふ迄も無く多數の者が互に接觸して病原を散布し、傳染の媒介をなすからであらう。

それ故學校はたゞ休業にさへすれば病毒媒介の責任は免れる譯である。併しそれではたゞ一時消極的の處置に止まつて積極的な深切な態度では無い。何故學校では之を機會として一般衞生の事などを徹底的に教訓し然かも之を勵行せしむるの道を講ぜぬのであらう？　否廣い日本の事であれば既に勵行して居る所もあるかも知れぬが、このやうな一般的大事件こそ教育會より又當局の官憲なりから有效に普及するやうな方法を以て強壓的にも實行して貰ひ度きものである。一級の教師が自己の意見や注意を述べたり述べなかつたりし、或は一校では注意し他校では放任するといふやうな事ではならぬ。緊急に校醫

の會合を開くなり相談を遂げるなりして細かに豫防及び養生の注意を與へ、兒童をして之を勵行せしむる手段を講ず可きである。之が爲めには父母や保護者を集めて徹底的に諭す必要もあらう。

何れにしても從來我國多數の家庭に於ては食前に手を洗はず食後に盥嗽せぬ。この習慣は善良なものとはいへぬと共に衛生上にも良くない。されば此際之を勵行して一は眼前の恐る可き流行感冒豫防の一助とし、一は永久に善良なる習慣を養はしむるがよい。硼酸は極めて便利なる藥にして廉價で誰にでも賣りもすれば買へもする。之を湯に溶かして置いて食後には必ず口嗽がしめると共に間にも屢〻うがひせしむるやうにすれば容易く病菌を殺すか體外に出でしむるかする事が出來る。食鹽水でも微溫湯でも效があるといふに至つては更に容易である。之を機會に子供等に他より歸りし時と食前食後に口をそゝぐ習慣を養はしむるがよい。(勿論流行の絕滅せる後は食後の含嗽のみを廢してもよい)

又假令學校を休みても電車に乘りて病者に接觸しその咳のしぶきを吸入するやうな事があつては何にもならぬ、さらばとて一切人の群る所に往かぬやうにするといふ事も場合によりては出來かねる。その爲めには呼吸器を簡易に造る法を學校にて敎へ女子には勿論男子にも手工の一部として之を作らしめ上校の際も電車等に乘る場合には必ず之を用ゐしむるやうにせしむるがよい。小學校は勿論中學校の生徒でも女學校の生徒でも曾て之を用ゐて居る者を見ぬのは如何なる理であらう？詰り學校に於て之を獎勵もせず命令もせぬ故である。是等は家庭の不注意にも由るが一の家庭のみ之を勵行せんとしても兒童は社會性の強いものである故一般に行はねばなかなか實行せぬ。これはどうしても一市とか一縣とか一郡とか團體すべてを申し合せて勵行せしむ可きである。米國の如き個人の自由を重んずる共和國でさへ警察官が街上の人に呼吸器の使用を嚴命して皆之を用ゐしめて居るといふでは無いか。我國はつまら

ぬ事によく官憲が嚴命を用ゐるに拘はらず何故にこのやうな重大なる事に大切な權力を用ゐぬか。せめて學校の權力の及ぶ限りに於てでも各自が自己の生命を重んずる道を勵行すると共に更に他人に迷惑の及ばぬやうにする公德心團體精神の發揚に努めしめねばならぬ。

更にこの度感冒の流行を機會に專門の權威を重んずる習慣を養はしむ可きである。從來我國民は一般に智識の程度低く科學を信ずるよりは呪を信じ魔法奇術を信ずる傾がある。隨つて社會に於ける相當の地位を有する者にして病にかゝるも專門の醫師に診てもらうことをせず先づ賣藥にて濟ますか、加持祈禱を賴むか、然らざる迄も種々の擬科學的迷信的方法に由つて之を療し得るものと思ひ姑息のことをなしつゝある間に病勢は急劇に進歩し醫師に診斷を乞ふ時は既に時機を失せるの類が決して少く無い。この度の感冒も最初の注意を怠るのが大事を來す基となつて居るやうである。勿論醫師皆神醫にあらず時には過誤もあらう。却つてまじなひの方のよく利きしといふ例もあらう。併しそれは共に例外である。この世の中に疾病に關しては專門の科學ほど信賴するに足るべきものはない。兒童の幼時より學術の信ずべきこと、重んずべき事をよく敎へ込む事は何時に於ても必要であるがこの際に於ては一層痛切に專門科學の指導に從ふ心を養はしめねばならぬ。

又かゝる際に一般の健康體がよく病毒の攻擊に堪へ得る所以をよく知らしめ一般健康の增進に努めしめることも更に必要である。街頭に於て兒童が夜晚くまで漫然と寒風に吹かれつゝ遊べるが如きはどの點より見ても是認すべき事ではない。學校も家庭も此の際を機會に道德と衞生との並行を奬勵し禍を轉じて福となすの手段を講せねばならぬ。

或人は或高等女學校長が生徒を集めて流行感冒にかゝつた者の周圍三尺(?)以内に入つてはならぬといふたのを非常に憤慨して我國の女子がこの通り實行したら、子として妻として親や夫に對する看護な

どが出來るかとの意味を以て論破して居る。これは最の事である。併し校長の意志もさう非常識の積りではなかつたのであらう。注意が足らなかつたのであらう。これも畢竟校長などゝいふ人物がたが專門の智識を輕視し又は輕信して眞に之を理解し之に聽順して適當の處置を取る事に努めぬ爲めに出て來る過誤である。此際何故校長はどうしても接近せねばならぬ場合にはどうすればよいかといふ事を生徒各自に考へしめるか又は自ら說き聞かしめなかつたか。かういふ時こそ呼吸器を用ゐれば衞生と道德とを並行せしめ得るでは無いか。たゞほんの所謂義理にて他人の病室に入り込み病人をも害し自らも傳染の危險あるに之に接近するは何れの點よりも是認する事は出來ぬ。かういふ事もよく〳〵具體的にこの際兒童(青年少年以下を含む)に徹底せしめて置くがよい。

醫師殊に學校醫はかゝる際にこそ聯合して奮起し衞生の重んずべき事を最も痛切に眼前の事例に由りて示すの道を講ずべきでは無いか　學校敎師の衞生的智識も要するに專門の醫師に待たねばならぬのである。

家庭衞生

西洋の漬物其他

ミス、パタソン

蜜柑の果糕(マーマレード)

蜜柑は酸いのを選び、目方を計り、拭き、四つに切る、皮も、肉も細に切る。種は皆とり去る。果物の肉と汁一「ポンド」對、一「ポンド」と四分の一「ポンド」の砂糖を入れ、果皮が透明になり、糖水が濃くなるまで、三十分乃至四十五分間煮る。「コップ」に入れ、冷えた時封をす。

胡瓜、花椰菜、玉葱の漬物

胡　瓜　　三百個

砂糖　一「ポンド」
「カリフラワー」(大)　二
姜黄　一「オンス」
玉葱(小)　×「コップ」八
白胡椒　大匙二
酢　同
芥子　四分の一「ポンド」
「メリケンコ」　「コップ」一

×一合は「コップ」三分の二なり。

「カリフラワー」を洗ひ小片に切り、玉葱はむき、黄瓜は洗ひ、もしあまり大きかつたら小さく切る。これらを一緒に一夜鹽水の濃い(水「コップ」四に鹽大匙二)に漬けておき、翌朝水をすて、酢に入れて火にかけ熱す。そして酢より漬物をとり出す。香料は皆一緒にして、酢で溶かし、かきまはしながら、ゆつくりと熱い酢に入れる。これへ漬物も入れ、三十分間程煮て、壺に入れ、封をす。

林檎(りんご)の「ゼリー」

林檎を拭ひ、根本と上の所を切りとり、四分す。殆ど全部没る程に水をかぶせ、軟くなるまでゆつくりと煮る、次につぶして、「ゼリー」袋に入れ汁を皆滴らす、その後は次に記す方法に従つて仕上げる。

葡萄(ぶだう)の「ゼリー」

葡萄の果をとり、洗ひ、莖をとり去る、煮る時こげつかないだけの水を入れて、沸騰せしめ、後つぶして、又三十分間煮、それを、「ゼリー」袋に入れる、汁をはかり、二十分間沸騰させ、こゝへ同分量の煮た砂糖を加へ、三分間沸騰させ、浮泡を掬ひ去り「コップ」につぐ。

「ゼリー」製法(せいはふ)一般(ぱん)

一、果物は、堅い、しつかりした、あまり熟さないのを用ふ。果物により洗へるものは洗ふ。

二、苺や、葡萄の如き汁多き果物は、こげつかない爲、僅かの水を入れる。「マルメロ」、林檎の如き汁少き果物には殆ど、かぶる位に水を入れる。

三、木の匙で時々かきまはしながら、軟くなるまで煮る。全體が全く煮るまでとろ火で煮る。「ゼリー」袋に入れ、中の熱い水をしぼり出す。

四、果物の汁と同分量の砂糖を用ひるか、又果物の甘味により果物の汁の四分の三の砂糖を入れる。林檎には汁と同分量の「コップ」一に對し「コップ」一の砂糖を入れる。

五、汁を二十五分間煮、砂糖を入れて、もう二十分間煮る。砂糖は汁に入れる前に煮ておく。

六、熱い、消毒した、壺の中へ入れる。

七、沈むまで、日あたりよき場所に置く。

八、熱い熔した、「パラフィン」で蓋をなしその上から重い白い紙でおほふ。

林檎(りんご)の果糕(マーマレード)

「ゼリー」に使用した残りの果肉を用ふ。うらごしにかけ「コップ」一の果肉に「コップ」四分の三の砂糖を入れる。「コップ」六の果肉に對し、半個の「レモン」を細に切つて入れる。よくかきまはし、材料が濃くなるまで、ゆつくり煮る。もつと香を附す爲に丁子半分、肉桂及び「ニクヅク」を各小匙半入れてもよろし。

梨(なし)の「ヂャム」

梨の皮をむき、八分す。ゆつくり沸騰させ、煮た砂糖を梨一「ポンド」に對し、同じく一「ポンド」入れる、「ジャム」に香を付ける爲、生姜一個か、又は薄く切つた「レモン」を入れてもよろし。一時間ばかり、ゆつくり、濃くなるまで煮、消毒した壺に入れる。

「チリソース」

「トマト」(大、熟したもの)	十二個
丁子	大匙二分の一
唐芥子	二
肉桂	大匙一
鹽	大匙二
「オールスパイ」	大匙二分の一
砂糖	大匙四
けづゝた「ニククヅ」	小匙一
酢	「コップ」二

「トマト」と玉葱の皮をむき、「トマト」は小片に切り、玉葱と唐芥子は細にきざむ、こゝへ殘れる材料を皆入れ、ゆつくり沸騰させ、氣長に二時間乃至二時間半たえずかきまはしながら煮る。後はやはり消毒せる壺に入れ封をす。

手製(てせい)の洗濯石鹼(せんたくせきけん)

精良にした脂	五「ポンド」
「アンモニヤ」水	大匙一半
水	「コップ」六
灰汁	一罐
硼砂	大匙一半

冷水に灰汁を溶かし、こゝへ硼砂と、「アンモニア」を入れる、脂も同じ温度になし、しづかに、かきまはしながら、前の灰汁の交ぜものゝ中へ入れ、濃くなるまでかきまはす。箱の周圍に油をひいた紙をおき、この箱の中へ前の材料を入れて固まるのを待つ。全く石鹼となり、堅くなつた時型からとり出し、適當な大きさに切る。

燃料鑑別法（日本女子大學調査）

一、薪

（イ）乾燥充分にして重量多きものを良とす。

水分は燃燒の際蒸發するものにして之がために多量の熱を吸收するのみならず一定量中に在る可燃物の量を減少せしむるなり乾燥の良否は目擊に依り概要を鑑識し得べしと雖も燃熱の際燃付の良否煙發生の多少及び切口に液汁を浸出するの多少により鑑識するを得。

（ロ）雜木よりも堅木を良とす。

薪材の發熱量は密度に比例して增加せるものにして堅木は雜木に比し木質密にして同容積内の重量大にして可燃燒成分多く從つて熱量高くして效力大なるの利あればなり然れども松薪は比較的廉價にして熱量多し木質の密度は薪材の横斷面により識別するを得べし。今市場に於ける堅木及び雜木の種類を示せば左の如し。

一、堅木……樫、楢、栗、楡、山毛欅、榉、楓等。
二、雜木……松、杉、檜、柳、白楊、樅等。

（ハ）伐採は秋冬の候に於て行ひ且つ六ヶ月以上乾燥せられたるを可とす。

（ニ）若木は熱量少なく多汁性なるを以て成木を良とす其の年齡は横斷面に依り年輪を檢するを便とす。

二、木炭

（イ）平等に炭化し燃燒するも煙を發せざること。

（ロ）堅硬にして能く壓力に堪へ之れを打てば金屬音を發すること。

（ハ）色は眞黑色にして破面光澤あること。

（ニ）質緻密にして樹木の原形を失はず且つ適度の太さを有すること。

（ホ）乾燥充分にして土砂石礫を混せざること。

（ヘ）俵裝良好にして粉炭の混入なく各俵の重量一定しあること。

三、石炭

(イ)色澤　純黑にして齊一なる光澤を有し斷面緻密稍ミ匙狀を現はすは良品なり。暗褐色にして斑紋を現はすものは不良品なり、泥土の附著し不鮮明なるものは水洗するか布片にて清拭して檢すべし。

(ロ)重量　一般に輕く石其の他の不純物を含まざるを良とす炭種により一樣ならざるも切込炭の一例を示せば一立方坪は約九千七八百斤あり。

(ハ)打音　炭塊を相互打合すか金槌にて打つに金屬性の音響を發し數個の多角形の小片に碎くるは良品なり。
石塊の如き音を發するは中等品なり
土塊音を發するは下等品なり。
此等は石盤又は木炭の破面の如く不規則且つ大塊となりて破碎するを見るべし

(ニ)粉炭量　切込炭は風化若くは故意に粉炭を混合せるがため著しく粉炭量大なるあり又塊炭に在ても風化運搬のために若干破碎せらるゝ傾向あるを以て或範圍までは粉炭の混在を認めざるべからず。
其の量は塊炭三割以內、切込炭五割以內なり。

(ホ)風化　採掘後久しきに亙り風雨に暴露せられたるものは風化して質脆弱となり、往々破面に赤銹を生じ又は白色結霜を見ることあり風化の程度は炭を破碎せる內外の色澤及び脆弱の度合を判定するにあり風化せるものは火力弱く勿論劣等なり。

(ヘ)夾雜物　良炭と雖も尙砂礫等の混在あり況んや奸商は不良炭を故意に配合する事あり此の試驗は清水に浸し攪拌處理するときは輕量物は浮び土質は流れ去り砂粒は水底に沈下するを以て乾燥したる後檢量し夾雜物の量は百分の五以內なるを良とす又此際石(ボタ)等を撰別して炭の良否を併せ檢するを要す。

(ト)水分　普通石炭の含有水分は百分の五を標準とし其以上は水引をなすべし降雨等にて自然に水分を含むことあり若し十能を石炭中に插入するに水

分附著するは濕潤せる證にして善く十能を離るゝものは乾燥せるものなり含水量を簡單に檢するには一定量を秤量したる後之を日光乾燥若くは汽罐室上にて乾燥の後更に秤量し其減差を檢するにあり。



雜報

○米國婦人國旗を贈る

過般來朝中なりし米國ヴサー女子大學敎授天文學博士フワーチス女史は米國出發に際しシャトル市に滯在中同地の「婦人大學倶樂部」の會員は左の三個條

一、我等は日本婦人に大なる敬愛の念を有し且つ利害を共にせんことを欲す。

一、我等は一層日本婦人と親交を厚うせんことの希望を有す。

一、其精神希望を表せんが爲本倶樂部會員の名を以てヴサー女子大學校友より國旗を日本婦人に贈呈す。

の決議をなし右米國旗を女史に託したるに付、女史は之を携へて日本に渡來し其贈貽方に就て種々考慮の末、日本赤十字社の婦人會に之を贈呈するを最も適當なりとし、石黑社長に之が贈貽方を申出でたるに付、同社に於ては篤志看護婦人會をして之を受領せしむることゝし、二月二十一日午後三時三十分本社階上會議室に於て其贈貽式を行ひたり。列席者は同會職員及會員約四十名、石黑社長德川副社長以下各理事等なりしが、フワーチース女史は東京在留のシャトル婦人大學倶樂部會員及ヴサー女子大學卒業生數名を伴ひ臨場、大要前記の趣旨を述べて國旗を贈貽し、會長鍋島侯爵夫人病氣缺席に付故花房子爵未亡人代つて之を受領し謝辭を述べ、次に石黑社長挨拶をなし、夫れより食堂に於て參列者一同に茶菓を供したりき。

會報

○本會三月例會

本會三月例會は女子修養倶樂部と合同し本月一日午

後一時より神田區一ッ橋通り共立女子職業學校に於て開會、醫學士杉田直樹氏は「近代婦人の頭腦の進步」と題し、解剖生理、人類學の諸方面より男女の頭腦を比較し、事業上に於ける長短優劣を對照し、女子の天職の那邊に存するかを指示し、特に本邦現時の趨勢に鑑みて日本婦人の向ふべき正道を論じ、多大の感激を與へられたり、次に細川風谷の講談一席ありて後、マスター、オブ、アーツ水戸部茂野子女史の『歐米の劇と其構成法に就きて』といふ興味ある講演あり、各實例を擧げつゝ劇の沿革、殊にその構成法に就きて平易に說明せられ、文藝の鑑賞竝びに攷究上裨益する所尠なからざるものありき、右終りて閉會、階下の別室に於て暫く懇談の後全く散會せるは午後四時過なりき、因みに當日出席の本會役員は左の如くなり。

鳩山春子　濱尾作子　高木錄子
丹波貞子　吉岡彌生　田村きよ子
宮本樂子　守屋千代子

○新潟支會新年會

大日本婦人衞生會新潟支會は一月二十六日午前十一時より大畑尋常高等小學校內に於て新潟市婦人教育會及大婦人協會と聯合して新年會を開催し會長高田センチ女史の開會の辭に次で一同君が代を合唱し、それより江口氏範學校長の祝辭演說及び長井千尋氏の衞生講話あり、晝食後の餘興として鈴木伊平の花踊、堀田旭升氏の筑前琵琶、鈴木ハマ子の彈琴、鏡淵夫人の手品等種々の演藝あり、來賓及び會員の出席百數十名にて頗る盛會なりしが午後二時半閉會したり。

○入會者

○事務所申込

横須賀市汐入六〇　通常會員　但馬和歌子
靜岡縣伊東町玖須美　通常會員　杉山政子
北海道札幌郡手稻村字輕川岩村醫院內　通常會員　岩村嘉代子

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁　東伏見宮妃周子殿下
會長　侯爵夫人　鍋島榮子
副會長　男爵夫人　濱尾作子

（いろは順）

幹事　鳩山春子
同　岡田德子
同　山本多穗子
同　松平芳子
評議員　入澤常子
同　濱田捨子
同　原みつ子
同　西　升子
同　緒方悦子
同　小川孝子
同　片山龜子
同　丹波貞子
同　田村きよ子
同　男爵夫人　南部限子
同　山口貞子
同　古市幸子
同　近藤憲子
同　岸　澄子
同　三宅藤子
同　守屋千代子
同　長谷川仲子
同　高木鐐子
同　三浦敎子
同　羽田三緒子
同　服部繁子
同　仁禮壽賀子
同　土肥多越子
同　岡山とし子
同　男爵母堂　加藤鈴子
同　吉岡彌生子
同　高橋孝子
同　鶴原誠子
同　中濱芳子
同　子爵母堂　松井正子
同　小松いさ子
同　天野多喜子
同　菊池米子
同　宮木樂子

大正八年三月二十二日印刷
大正八年三月二十五日發行

編輯者兼發行者　東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地　莊司秋次郎
印刷者　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　櫻井新三郎
印刷所　東京市本郷區駒込林町百七十二番地　合資會社　杏林舍

發行所　東京市本郷區駒込千駄木町五十番地　私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所
東京市本郷區龍岡町　吐鳳堂
同市銀座四丁目　東海堂
同市京橋區鎗屋町　眞明堂
同市本郷區本富士町　明文館
同市同區春木町　南江堂支店
京都市寺町二條南入　若林茂一郎
東京日本橋區吳服町　北隆館
同市神田區表神保町　東京堂
同市本郷區本富士町　盛春堂
名古屋市榮町六丁目　丸善書店